

議 事 録

会議名	令和4年度第1回寒川広域リサイクルセンター運営委員会		
開催日時	令和5年2月22日（水） 午前10時00分～11時10分		
開催場所	寒川広域リサイクルセンター 研修室		
出席者名、欠席者名及び傍聴者数	出席者 石田委員長、金子副委員長、菊地委員 事務局 菊地環境経済部長、大山環境課長兼リサイクルセンター場長、尾畑主幹、赤井副主幹 傍聴者 なし		
議 題	(1) 資源物搬入・搬出量について (2) 施設見学者数について (3) 長期包括運営責任業務に係る年間運転計画について (4) その他報告		
決定事項	—		
公開又は非公開の別	公開	非公開の場合その理由（一部非公開の場合を含む）	
議事の経過	1 開会 2 あいさつ 3 委員長・副委員長の選任について 4 議題 (1) 資源物搬入・搬出量について 【事務局】 <資料3-1～3により説明> (2) 施設見学者数について 【事務局】 <資料4-1～2により説明> (3) 長期包括運営責任業務に係る年間運転計画について 【事務局】 <資料5により説明>		

(4) その他報告

【事務局】 <資料6により説明>

5 閉会

◆質疑応答◆

(1) 資源物搬入・搬出量について

【金子副委員長】茅ヶ崎市では、今はプラスチック製容器包装の有料袋はないが、近いうちに有料化されるのか。

【事務局（課長）】茅ヶ崎市では、今年度から可燃ごみと不燃ごみについて指定収集袋が導入されている。プラスチック製容器包装については、有料袋は今のところ考えていないとのこと。

【菊地委員】2月、3月は、昨年度に比べると搬入量は増える見込み？どのくらいを想定している？

【事務局】今年の1月までの搬入量と、昨年度の1月までの搬入量を比べると、今年度は昨年度に対して3.56%伸びている。資料3-3の昨年度の年間搬入量に、伸び率3.56%をかけて求めた今年度の年間搬入予想量は、9,528,734kgとなるかと考えている。

【事務局（課長）】だいたいの物の搬入量は減ってはきているが、ペットボトルとプラスチック製容器包装だけは増えている。ペットボトルの増加理由ははっきりとは分からないのだが、プラスチック製容器包装については、茅ヶ崎市が可燃ごみに指定収集袋を導入したことによって、指定の高い袋を使わなくていいプラスチック製容器包装の方にしっかり分別が進んで、リサイクルセンターに持ち込まれる量が増えたのではないかと考えている。

ただ、その中身の質については、汚れたものや、本来プラスチック製容器包装ではないものの混入があり、実際に搬入されても86%くらいしか資源化できないという状況。

【菊地委員】リサイクルセンターが出来てから3年間くらい、手選別の方で働いていた。当時から、寒川町ではプラはプラの袋、茅ヶ崎市はお店でもらうレジ袋でいいということだった。

手選別では、プラが入っている袋はプラじゃないということで除去していたが、手選別の立場から言えば、これはナンセンスだなあと思う。

コロナで在宅の時間が増えると、ペットボトルやプラが増える傾向にあるということは報道でもよく聞くが、搬入量増加の理由は、茅ヶ崎市

の分別によってということなのか？

【事務局（課長）】プラスチック製容器包装については、確実に茅ヶ崎の量が一気に増えたので、可燃ごみに指定収集袋が導入されたことによるもの。今までは、可燃ごみの中にプラスチック製容器包装も入れていたところを、きちんと分別するようになったということかと思っている。

【菊地委員】それでこちらに搬入される量が増えたということですね。搬出率に高い低いがあるのは、分別の時点で成果品として出せないものが多いとか、除去するものが多いということか。

【事務局（課長）】そうです。

【菊地委員】分別の方法について、衛生指導員が立っているが、地区にはまだ理解できていない人が多くいるのでは。資源ごみの日に行くと、「これはどうなんだ？」とよく聞かれる。出す人の理解度も足りないし説明も足りないと感じることがある。

正月明けは、プラスチック製容器包装のヤードがいっぱいになって、2つのヤードがつながってしまうことがあったが、今はどうか？

【事務局】今年は、そこまでではなかった。

【事務局（課長）】分別の理解は、まだまだ進んでいない部分があると認識している。手選別で分けていただく中で使えないものが多く出てしまっているのは、PR 不足かと感じている。引き続き、皆さんに理解していただけるようにしていきたい。

(2) 施設見学者数について

【石田委員長】これに対して質問は。

【菊地委員】私が勤務していた当時は、手選別の中まで入って見学していて、「匂いが耐えられない」という人もいた。最近の中には入れない？

【事務局】コロナウイルス感染症まん延防止対策として、今は、外からガラス越しの見学としている。

【菊地委員】自治会の見学で何度か来ているが、確かにガラス越しの見学だった。ただ、ガラス越しに見るのと、中に入って見るのとでは感じ方がかなり違う。手選別の人たちが、どんな思いでやっているかを目の当たりにすることによって、分別の意識も変わるのではないかと思う。

窓から見るのでは、プラスチック製容器包装のラインしか見ることが出来ないが、その奥には、びんやペットボトルのラインもある。

プラスチック製容器包装の手選別では、「異物を見落としてはいけない」という思いで一生懸命作業をしているし、かんの手選別では、一緒

に入っているスプレー缶を除去したり、ペットボトルの手選別では、ラベルやキャップがついていれば、それを外している。

このように一生懸命作業している姿を、見学者には見てもらいたいと思うし、そういう体制にしてほしいとずっと思っている。

ガラス越しでは、作業の大変さや分別の大切さが伝わらないのではないかと思うので、ぜひ検討をしていただけたら。

【事務局（課長）】コロナになってから、人数を減らしたり時間を短縮したり等、感染対策を取って実施しているが、中まで入ったり大勢が密集したりするのはどうかという問題はある。

おっしゃるように、中に入って皆さんの作業を間近に見ることの大切さはあると思っている。

【菊地委員】実際のおいや音を感じてもらえれば。見学は、希望者だけでなく、「今月はここの地区の方に来ていただく」というような、強制ではないけれども、町から見学の要請を出されてはどうか。私は小動に住んでいるが、自治会では年に一回の募集に対して、参加するのはせいぜい10人程度。「見に来てほしい」というPRが必要では。

(3) 長期包括運営責任業務に係る年間運転計画について

【石田委員長】これに対して質問は。

【金子副委員長】「自治会祭りへの参加」とは？

【事務局】今年度は、10月に小動神社例祭への協賛をしている。

【事務局（課長）】地域貢献ということで、町内全域ではないが、地元には協力している。

【金子副委員長】宮山神社の運営委員をしているが、子どもを対象にした事業をしており、その際に出るごみは会長か副会長が持って帰っている。こういったものは、地元貢献ということならば、リサイクルセンターの方へ来ればいいのか？

【事務局（課長）】地元貢献は、お祭り等のごみの回収ということではなく、協賛金という形で行っている。

(4) その他報告

【菊地委員】6 ページに記載のある「入ってはいけないもの」、信じられないかもしれないが、これがみんなプラスチック製容器包装に入っている。プラスチック製容器包装として出せるものは、プラスチック製品ではなく容器だということをお分かってもらう必要があると感じる。

PP バンドが入っていたりすると、分別が大変なだけでなく、機械に

絡まって機械が止まってしまうこともある。分別をしっかりとしてもらわないと、成果物として出せないだけでなく、機械が故障したり稼働が出来なくなったりということにもつながるので、分別の大切さをぜひ分かってもらいたい。

【事務局（課長）】4月の広報と一緒に全戸配布する環境課の機関紙に、プラスチック製容器包装のことや分別のことなど、しっかり書いて出す予定。プラスチック製容器包装というものは、言葉の頭に「プラスチック」とあるので、どうしても「プラスチックなら」と思われがちで、いろいろなものが混ざってしまう傾向にある。しかし、この写真にもあるとおり、プラスチックではないのに、電池がずいぶん入っていたりする。こういったものは、今回導入した高磁力マグプーリーで除去することが出来るようになったが、まずは「出させない」ことが重要と考えている。分別の大切さについては、ことあるごとにしっかりと周知していく。

【菊地委員】プラスチック製容器包装の中に、ペットボトルが入っていることもある。ペットボトルもプラスチックと思われてしまう。

【事務局（課長）】改めて、町民向けの周知を、しっかりやっていかないといけないなと思っている。

【金子副委員長】今の話を聞いて「そうなんだ」と思った。ほかの人は、もっと分からないのではないかな。

【事務局（課長）】プラスチック資源循環の法律というものが新しく出来て、今後プラスチック製品も分別して出さなければいけないという流れがある。石油資源を大事にしないといけないということなのだが、ごみとして燃やすのではなく循環させようという流れになっている。いずれ寒川でも分別項目が増え、やっていかななくてはいけないことになると思うので、町民の方には、出来るだけ分かりやすく周知していきたいと考えている。

【菊地委員】ハンガーもプラの中によく入っている。中身が金属だけど、ビニールがまかれていると「プラでいいだろう」と思われてしまう。プラと金属が混入していれば、それは不燃ごみになる。

ペットボトルをつぶして出すことは徹底されてはいない？

【事務局（課長）】そのまま出してしまうところもある。

【菊地委員】昔は、そのまま出してくれと言われていた。つぶしてあると、圧縮機でうまくつぶれないから。今はどうなのだろう？

【事務局（課長）】ペットボトルに関しては、つぶして出してもらっても、機械で圧縮すればかみ合うので大丈夫。かんは、つぶして出されるとうまくかみ合わなくなってしまうので…。

【菊地委員】ペットボトルは、『ごみと資源物の正しい分け方・出し方』には、つぶして出してと記載されているが。

【事務局（課長）】収集の効率を考えて、つぶしてとしている。

【菊地委員】それならば、つぶして出すことを、もっと徹底された方がいい。簡単につぶせるものはつぶして、簡単につぶれないものはそのままでもいい、なども。収集の時に立ち会う衛生指導員との間で、つぶしてないペットボトルがあると、トラブルになることもある。負担にならないように、つぶせるものはつぶして、ということを知りたては。

かんとスプレーかんは、分けた方がいい？

【事務局（課長）】置き場には分けて出しているが、収集の効率の関係で、それぞれに車を出せないため、収集は1台でとなっている。

【菊地委員】スプレーかんはスプレー缶の業者がいると思う。その業者が回って収集するというわけにはいかない？

【事務局（課長）】委託料など予算が絡むものなので、何とも言えない。

【菊地委員】『ごみと資源物の正しい分け方・出し方』は、4月から新しいものが出る？

【事務局（課長）】3年に1回更新されるので、今回は令和6年4月からのものとなる。

【石田委員長】貴重な話をいろいろ伺うことが出来た。リサイクルセンター運営委員会委員として、ごみを出すときに立ち会う必要があるか？

【事務局（課長）】特に必要ない。

【石田委員長】ごみ出しの時に立ち会う人も、ここでの話のようなことは知らないと思う。

【菊地委員】リサイクルセンターは寒川町と茅ヶ崎市の施設だが、茅ヶ崎市の委員はいないのか？

【事務局（課長）】茅ヶ崎市からは、事務委託という形で寒川町に任せであるということになっている。町から茅ヶ崎市に持って行っているごみについても、茅ヶ崎市は茅ヶ崎市でこうした会議を開いており、寒川からは参加はしていない。

【菊地委員】茅ヶ崎市には、この生の声は届かないのか。

【事務局（課長）】茅ヶ崎市でも、プラスチック製容器包装の件では、自治会に何回も回覧をまわして啓発している。不適物があって寒川の施設のラインが止まってしまったので、分別をしっかりとしようという回覧を、何度もいただいている。

	<p>【菊地委員】リサイクルセンターの実態は、見学に来て肌で感じないと分からないと思う。</p> <p>【金子副委員長】衛生指導員も自治会も、リサイクルセンターの見学をした方がいいのでは。町からの声掛けも必要ではないかと思う。</p> <p>【事務局（課長）】茅ヶ崎市の自治会からも、見学に来ているところがある。</p> <p>【菊地委員】過去には、茅ヶ崎市のほか遠方からも見学者が来ていたと記憶している。比率から言ったら、町内の自治会の方が来ていないのでは？</p> <p>【事務局】1月末現在で、町内自治会の見学は、もくせいハイツ第二自治会と小動自治会の2団体。</p> <p>【菊地委員】小動自治会は私のところ。多分10人程度だったと思う。町内の見学者が少ないのは、自治会の募集の仕方にも問題があるし、町のPRの仕方もあるのではと思う。せっかく施設見学が出来るのだから、誘い合って行く雰囲気がないと、いつまでたっても分別が浸透しないのでは。町内の自治会がもっと見学に来てくれるといいのだが。</p>
<p>配付資料</p>	<p>資料1 寒川広域リサイクルセンター運営委員会委員名簿</p> <p>資料2 寒川広域リサイクルセンター運営委員会設置要綱</p> <p>資料3-1 令和4年度資源物搬入・搬出量（令和5年1月末時点）</p> <p>資料3-2 令和3年度資源物搬入・搬出量（令和4年1月末時点）</p> <p>資料3-3 令和3年度資源物搬入・搬出量</p> <p>資料4-1 令和4年度寒川広域リサイクルセンター施設見学者数（令和5年1月末時点）</p> <p>資料4-2 令和3年度寒川広域リサイクルセンター施設見学者数</p> <p>資料5 令和4年度年間運転計画</p> <p>資料6 高磁力マグプーリーの導入について</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>菊地 米秋 (令和5年3月31日確定)</p>